

地質技術者セミナーに参加して

東北ボーリング(株) 佐々木 瞬



私は今まで他職業で長年働いてきました。東北ボーリング(株)に入社したのは、去年の12月。ボーリング助手として勤務し、まだ1年弱です。仕事の内容もまだ良く把握していない状況で今回の「平成28年度(第39回)地質技術者セミナー」に参加させて頂くこととなりました。

最初に資料を配られた時は内容も難しく感じ、理解できるのか不安でとても緊張しましたが、先輩方が体験談を折り込みながら説明して下さいたため、資料で見るとよりわかりやすく、今まで知らなかった知識を学ぶことができました。

また、「不可視部分」の説明の際には、模型を使って説明して頂き、知識の少ない私にもわかりやすく、とても理解が深まりました。講義中は緊張感があり、講義を聞くのに必死でしたが、今後の仕事にとってもためになる内容でした。

次に意見交換会では、講義中とは違い参加者の方々と楽しく意見交換ができました。司会の方をはじめ、周りの皆様が良い雰囲気を作って下さり、講義中の緊張感が薄れ、仕事の体験談はもちろん、プライベートや趣味について話すことができ、とても笑顔あふれる有意義な会となりました。

2日目のグループディスカッションで、私達のグループは「環境」について話し合いました。現場にいる私にとっては、一番考えさせられた課題でした。その中でも現場での「騒音」については、普段仕事をしていると気付くことができない内容でした。騒音の原因として考えられた意見は、『エンジンの音』や『標準貫入試験の音など』があげられ、対策

として出た意見は、近隣住民の方々への事前の周知・説明をきちんと行う事や作業時間の配慮等があげられました。ボーリング調査時の騒音に関しては、常に現場にいる私は仕事に集中しているため気付くことができない事でしたが、近隣の方々に迷惑をかけていたと改めて知る事ができました。

また、現場で出たスライムやゴミ等は、廃棄物処理法等が関わってくる事を学び、私自身、より周囲や環境も考えながら仕事を行えるよう努力しようと思いました。

別のグループでは、発注者への説明方法や、ボーリングオペレータとのコミュニケーションについて発表され、相手との話し方やタイミング、情報の伝え方、聞き方を先輩方の体験談を折り込み説明して頂きました。言葉は同じ言葉でも話し手や聞き手によっては誤解を招く事がある為、私自身も丁寧に説明を行えるようにしたいと強く感じました。

最後に、不安で始まったセミナーは皆様の話しや思い、多くの体験談を聞く中で、「私達にしか出来ない仕事」と言う事を学び、多くの方々と一つの議題を話し合い、得たことの大切さを感じました。今後も一つひとつ覚えながら仕事に励みたいです。今回のセミナーを通じ、多くの方々と知り合い、話し、理解し、学ぶ事が出来た事をこれからの仕事に役立たせていきます。

協会の皆様、話題を提供して下さった皆様、参加者の皆様、笑顔あふれる充実したセミナーに参加させて頂きありがとうございました。

応用地質（株） 東北支社 柳川 未奈



今回で開催第39回目となった、地質技術者セミナーは、宮城県仙台市秋保温泉にて、11月18日～19日の2日間、開催されました。

そんな長く続いている伝統あるセミナーに初めて参加させていただくこととなり、どんな雰囲気で行われ、どんな方々が参加するのか、恥ずかしながら詳しいことは知らないままで、いささか不安な気持ちであったのが正直なところでした。

セミナー1日目には、いくつかのテーマに関する話題提供が行われました。地質技術者セミナーといってもその括りは広く、専門体系は多岐にわたり、漠然と地質を学んできた私にとっては大変色濃いものでした。地熱といったエネルギー関係のもの、工事等で発生する土砂内の重金属調査、コア採取と地すべり解析、仙台の地層と三次元的理解など…。自分自身の頭が足りず、理解がおぼつかない箇所もありましたが、普段の担当業務では関わりの少ないテーマは、自分からなかなか聞く機会を持たないので、非常に刺激になりました。

夕刻には意見交流会が開かれました。セミナー開始直後は緊張していましたが、堅苦し過ぎず、緩すぎずという雰囲気、いつの間にか緊張はなくなっていたように思います。同じ会社ならまだしも、他社の新入社員の方や先輩社員の方々と話す機会は学会くらいなので、おいしいごはんとともに程よい人数でいろいろなお話をできてとても楽しい時間で

した。また、女性技術者として参加している方々とも、女性ならではの業界あるあるを語り、どんな現場をやっているのか、どんな風に業務を行っているのか、大変有意義に過ごせました。

セミナー2日目には、若手技術者による話題提供とグループディスカッションが催されました。話題提供では、今まで経験した業務の紹介を聞いて、個々で業務をこなしていくにあたり工夫があり、私自身も何か自分なりの工夫をして業務をこなしていければと痛感しました。

グループディスカッションにおいて、私の所属したグループでは、業務を進めていく中での疑問点や適した進め方を話し合い、《業務（現場）の開始から現場終了まで》を発表してもらいました。疑問やこれはどうするのがいいのだろうと思っていたことを、ほかの人も思っていて、聞きづらいと思っていたことを話し合うことができ、今後業務を行っていくにあたり、モチベーションの向上につながりました。

今回のセミナーでは、多数のテーマのお話を聞け、同業他社の方々とお話することができました。セミナーで得たことは、未熟な私にとっても今すぐ活かしていけることも今後活かしていけることもあり、2日間ではありましたが、密度の濃い2日間だったと感じます。

最後に、このような機会を設けていただき誠にありがとうございました。より精進していきたく思います。

(株) 高田地研 伊東 賢生

平成 28 年度第 39 回地質技術者セミナーに参加させていただきました。地質調査業務に携わってから半年ほどたちましたが、自分と年齢の近い方で同じような職種に携わっている方とお話ししたことがありませんでした。今回の地質技術者セミナーで年齢の近い方と意見を交わすことができ、大変貴重な機会をいただけたと思っています。

地質技術者セミナーでは、始めにベテランの技術者の方々から話題提供がありました。話題提供では、仕事の中で関わる機会がなかなか無い分野の話や、自分の業務と関係のある分野の話をお聞きしましたが、私では内容をうまく理解できない点が多々あったため、これから調べておくべき事を知ることができました。

意見交流会では多くの方とお話する機会がありベテラン技術者の方からお客様関係での失敗談をお聞きすることができたり、若手の方々からは上司とどのように距離をとるのかを話し合ったりすることができ、今後どのように対人関係を

築くのかという参考になったと思います。

2 日目は若手技術者からの話題提供があり、現在行っている業務内容をお聞きすることができ、自分が行っている業務に参考にできる話や、関心を引く話が多々ありました。年齢が近いにも関わらず自分の意見を持って仕事をしていると知り、自分の現在の仕事に対する姿勢を見直す良い機会になりました。

グループディスカッションでは、市街地でのボーリング調査をした場合のトラブルやリスクについて議論させていただきました。近隣住民にどんな迷惑が掛かりそれに対する対策や、ボーリングのオペレーターとどんな関係をとっていくかの参考になりました。

今回のセミナーで、業務の中で実践できるものはすぐにでも実践し、近年若手技術者が少なくなっているこの業界を支えていけたら良いと思います。今回のセミナーを受講させていただきありがとうございました。

(株) 高田地研 佐藤 雄也

平成 28 年 11 月 18 日～11 月 19 日に開催された、(第 39 回) 地質技術者セミナーに参加させていただきました。

一日目は、ベテラン技術者の方の話題提供、夕方からは意見交流会が行われました。二日目は、若手技術者による話題提供があり、その後、グループディスカッションが行われました。以下に本セミナーの内容と感想を述べます。

・話題提供

一日目の話題提供では、「青森県岩木山地熱発電計画における 1500m ボーリング調査」、「自然由来の重金属の調査・設計」、「高品質コアと地すべり解析」、「地質調査報告書で見る仙台の地質」の 4 テーマについてベテランの技術者の方々の経験談を聞かせていただきました。私たち若手にもわかりやすいように講義していただき、とても勉強になりました。

・意見交流会

一日目の夕方から夜にかけて、意見交流会が行われました。普段、なかなか機会のない同年代の他社の方々や先輩方との仕事の話からそれ以外の色々な話まで、とても楽しく、時間が過ぎるのがあっという間でした。

・グループディスカッション

二日目のグループディスカッションは、二班に分かれて行われました。私たちの班では、打ち合わせから現場の確認、コアの見方などボーリング調査の一連の作業に沿って、グループディスカッションを行いました。私たちの質問や悩みに、ベテラン技術者の方がアドバイスをしてくさり、とても内容の濃いディスカッションになったと思います。

・まとめ

今回のセミナーを通して、ベテラン技術者の方々の現場での経験談など、貴重なお話が聞けて、とても勉強になりました。また、同年代の他社の方々との様々な交流、意見交換等をこれからの業務に活かしていきたいと思います。普段の業務では経験出来ないことばかりで、とても楽しく充実した 2 日間を過ごすことが出来ました。

このようなセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。今回のセミナーで学んだことを今後の糧とし、少しでも早く、一人前の技術者になれるように努力していきたいと思っています。